

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）
事業実施結果報告

事業名	①滋賀ならではの価値ある資源と観光を掛け合わせてつくる「シガリズム」推進プロジェクト					
所管課	森と水政策課、観光物産課、埋蔵文化財センター、公共交通政策課					
交付金額	5,015,385 円（対象事業実績費：10,030,770 円）					
計画	【地域資源の活用・異業種と観光の掛け合わせ】 ・地域の特長ある観光資源の磨き上げと発信 【データやデジタル技術の活用】 ・市内コミュニティバスへのバスロケーションシステム・AIカメラ導入					
重要評価指標(KPI)	KPI① 観光消費額(億円) KPI② シガリズム体験交流コンテンツの売上額(新たに構築する販売プラットフォームにおける売上額(百万円)) KPI③ 本事業で新たに創出された観光コンテンツ数(本) KPI④ 県外観光客リピーター率(%)					
	KPI	事業開始前(現時点)	R4 増加分(目標値)	R5 増加分	R6 増加分(目標値)	KPI 増加分の累計
	①	1,328 億円	189 億円 (324 億円)	237 億円 (330 億円)	滋賀県及び7市町との広域連携事業のため、県において測定	426 億円 (984 億円)
	②	—	0.71 百万円 (1 百万円)	4.88 百万円 (3 百万円)		5.59 百万円 (6 百万円)
	③	—	67 本 (64 本)	64 本 (64 本)		131 本 (192 本)
④	64.8%	7.5% (2%)	-0.1% (3%)	7.4% (8%)		
実 績						
【地域資源の活用・異業種と観光の掛け合わせ】 1 森里川湖エコツーリズム推進事業 委託料 2,058,568 円（率 1/2 1,029,284 円） (1) エコツーリズムガイド養成 912,814 円 ・かけがえのない森里川湖の地域資源のすばらしさを伝える安全で質の高いエコツアーを提供できるガイドの養成を目的とした「森里川湖エコツーリズムガイド養成講座」（延べ8日間）の実施 受講 12名、森里川湖エコツーリズムガイド認定 9名 ・本市のエコツーリズム推進の担い手である「鈴鹿10座エコツーリズムガイド」と「森里川湖エコツーリズムガイド」の更なるスキルアップを目的としたフォローアップ研修の実施 鈴鹿10座エコツーリズムガイド対象：6回 森里川湖エコツーリズムガイド対象：5回 (2) プロモーションバージョンアップ 1,008,386 円 ・エコツアー参加募集やエコツーリズムの情報発信を目的とした情報紙「ヒガエコ」の年3回発行 ・インバウンドをターゲットにエコツアーを展開するための既存動画を編集した英語版の作成						





(3) エコツアー認定及びモニタリング事業 132,981 円

- ・エコツアーのクオリティ維持向上のための認定エコツアー制度に基づくエコツアー審査の実施

(4) 地域資源活用試行事業 4,387 円

- ・地域資源の魅力が英語で正しく伝える実践マニュアル作成等の体制構築と、インバウンドをターゲットとしたエコツアーの企画・募集

2 観光戦略推進事業（短期滞在による外国人の市内周遊機会創出に係る調査）

委託料 2,000,000 円（率 1/2 1,000,000 円）

これまで実施してきたモニターツアーの検証結果や研修等で得た知見を基に観光商品を造成し、販売を行うとともに受入態勢の構築やプロモーション活動等を行うことで外国人の市内周遊機会を創出した。

(1) 受入体制の構築

- ・観光事業者を対象とした各種テーマでのインバウンドセミナーの実施

(2) 観光商品等の造成、販売

- ・OTA 販売サイト「Travel Arrange Japan」における各種観光商品の掲載、販売の実施。



世界に一つだけのお守りづくり（太郎坊宮）



季節の和菓子づくり（茶ろん坪六）

(3) 販路開拓の実施

- ・観光商品等の販路開拓を行う機会を創出するための各種商談会や交流会への参加

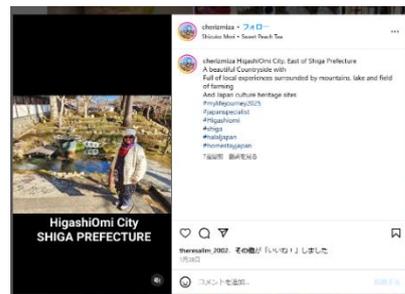
(4) プロモーション活動の実施

- ・ホームページやSNS等を活用した広報活動及び海外に発信力を持つ事業者のコネクションを活用した観光商品 PR の実施

(5) 医療ツーリズムに関する情報収集及び検討

- ・市内の病院に在籍する医師を頼って海外から患者の来院があることから、術後の観光の提案等に係る当該病院及び周辺宿泊施設への調査及びヒアリングの実施

研修やファムツアーなどを通じてインバウンド受入についての理解や知識が向上し、多様な習慣や考え方を持つ人々との接し方や日本独自の強みはどこにあるのか、という点を知ることができた。



3 五箇荘駅を起点とした五箇荘エリア周遊観光推進事業

委託料 2,000,000 円（率 1/2 1,000,000 円）

近江鉄道五箇荘駅から五箇荘金堂地区までに点在する地域観光資源を取り上げたツアーを造成し、来訪者の周遊促進及び魅力発信を実施した。

(1) ツアーの実施

- ・クラブツーリズム株式会社と連携しての近江鉄道五箇荘駅から五箇荘金堂地区までに点在する地域資源の魅力発信につながるツアーの造成、販売及びツアー催行の実施

(2) プロモーション活動の実施

- ・令和5年度に作成した「五箇荘まちあるきマップ」の名神高速道路多賀SA（下り）への設置
- ・同マップを基にしたモデルコースの作成とPRのための観光協会HPやSNS広告への掲載

ツアーの実施について、課題は一定残ったものの、総じて評価が高かった。普段非公開の施設を開放したことで集客増にもつながったと考えられ、また、「食事」が旅行の目的になるなど、今後の事業推進に当たって大きなヒントを得ることができた。



4 飛び出し坊や発祥の地プロジェクト

委託料 2,000,000円（率1/2 1,000,000円）

「飛び出し坊や」が東近江市発祥であることを広く周知することで、市民の愛着心を醸成するとともに飛び出し坊やの聖地として新たな来訪者を獲得して地域経済を活性化させるため、以下の事業等を実施した。

(1) 滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」での広報宣伝イベント

- ・東京日本橋にある滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」における広報宣伝イベント【「とびだしとび太」発祥の地東近江市フェア、「とびだしとび太」ここ滋賀ジャック！！】の実施
令和6年11月29日（土）・30日（日） 1,500人來館

(2) 各種イベントでの周知活動

- ・ももクロ春の一大事、イナズマロックフェスをはじめとした市内外でのイベントにおける各種飛び出し坊やの展示の実施

(3) 市制20周年記念飛び出し坊やの製作

- ・東近江市制20周年を記念した記念ロゴ入りの飛び出し坊やの製作と各種イベントでの展示の実施

(4) 新聞や雑誌への寄稿

- ・毎日新聞紙面や交通系機関紙への寄稿の実施

(5) オリジナルデザインの飛び出し坊やの設置促進

- ・東近江市体験コンテンツ「ちいさなたびいち」のプログラムの一つとして「MYデザインの飛び出し坊やを作ろう」の実施

(6) オリジナルデザインの飛び出し坊やの設置箇所の把握

- ・令和4年度に行ったオリジナルデザインの飛び出し坊やの設置場所の継続した調査、更新



各種事業でのPRやイベントでの継続した展示等により、飛び出し坊やの知名度向上や東近江市が発祥であるということを広く周知することができた。

また、2023年に上映された映画に飛び出し坊やが多く起用されたことで大きな反響を呼び、テレビでの特集や雑誌の掲載などもあり、プロジェクトとの相乗効果によって、東近江市を代表するコンテンツの一つとして飛び出し坊やの認知度は飛躍的に向上した。

5 古墳の魅力再発見事業

委託料 389,786 円 (率 1/2 194,893 円)

昨年度までに実施した雪野山古墳周辺の不要木伐採・木製ベンチの設置によって、万葉集の舞台である蒲生野の眺望が確保され、古墳に一定時間滞在できる親しみの持てる空間となった。これまでの環境整備をいかした探訪事業と体験講座を開催した。

- (1) ミニチュア鏡づくり体験用品の整備と鑄造体験講座の開催
 - ・ミニチュア鏡（三角縁神獣鏡）鑄型 5 個作成
 - ・鑄造体験講座の開催 8 月 3 日、12 月 14 日 参加者各 10 人
- (2) コレクションカードの作成・配布、古墳探訪講座の実施
 - ・カード 3 種（神郷亀塚古墳・山面古墳群・天狗前古墳群）作成
 - ・古墳探訪事業 11 月 10 日 参加者 20 人



雪野山古墳への散策路の整地や周辺環境の整備により探訪しやすい環境を整備するとともに、古墳探訪事業や出土品をモチーフにした鑄造体験、コレクションカードの作成、配布をとおして市内古墳の魅力向上や周知、来訪の動機付けを行うことができた。



【データやデジタル技術の活用】

バスロケーションシステム整備事業

委託料 1,582,416 円 (率 1/2 791,208 円)

バスロケーションシステムの導入により、コミュニティバスの運行情報（遅延や運休等）をリアルタイムで配信できるようになったことに加え、位置情報を活用し、グーグルマップ上における多言語検索が可能となった。

今後の方針

各種事業により東近江市の多様な地域資源の環境整備や磨き上げを行うとともに、各種コンテンツで情報発信することにより、東近江市の魅力を広く周知することができた。インバウンドに対しては様々なアプローチを行うことで、成果や今後の課題も見えてきた。

また、バスロケーションシステムの導入により、リアルタイムな運行情報の発信や市内交通機関の交通検索サイトへの掲載が容易になり、来訪者がより利用しやすい環境を整備することができた。

当該交付金を活用して 3 年間かけて実施した事業の成果を、今後実施する事業にもいかしながら、東近江市の地方創生を実現していく。